

# 第42回 花巻市景況調査結果

(2020年7月～9月期)

## 花巻市景況調査

花巻市内中小企業100社を対象として4半期ごとに調査を実施。今回の回収率は97%。

DI値・・・「好転」「増加」の割合から「悪化」「減少」の割合を差し引いた数値。DI値プラスは「好転」、マイナスは「悪化」を表す

- 「業況判断DI 18.0ポイント改善」(▲62.2→▲44.2)
- 「売上額DI 35.3ポイント増加」(▲72.1→▲36.8)」

## 業況判断DI ▲44.2 (全国平均▲34.1)

花巻市の業況判断DIは、今期全産業平均でマイナス幅が18.0ポイント縮小(▲62.2→▲44.2)し、4期ぶりに上昇した。

業種別に見ると、サービス業が前期差5.6ポイント減でさらに悪化を示したが、その他の業種は建設業で前期差40.0ポイント増をはじめ、いずれもマイナス幅が縮小した。

来期予想は、サービスがさらに悪化すると予想しているほか、製造業と建設業も悪化を予想している。卸売業が11ポイント程度好転、小売業もわずかに好転する見込みである。

全国の調査結果でも、全産業平均の業況判断が30.0ポイント増(▲64.1→▲34.1)となり、7期ぶりにマイナス幅が縮小した。業種別に見ても製造業、非製造業とも大幅な改善となった。

東北経済産業局管内でも、6県平均27.4ポイントマイナス幅が縮小(▲64.5→▲37.1)している。岩手県においても全産業平均24.0ポイントマイナス幅が縮小し▲39.2となった。

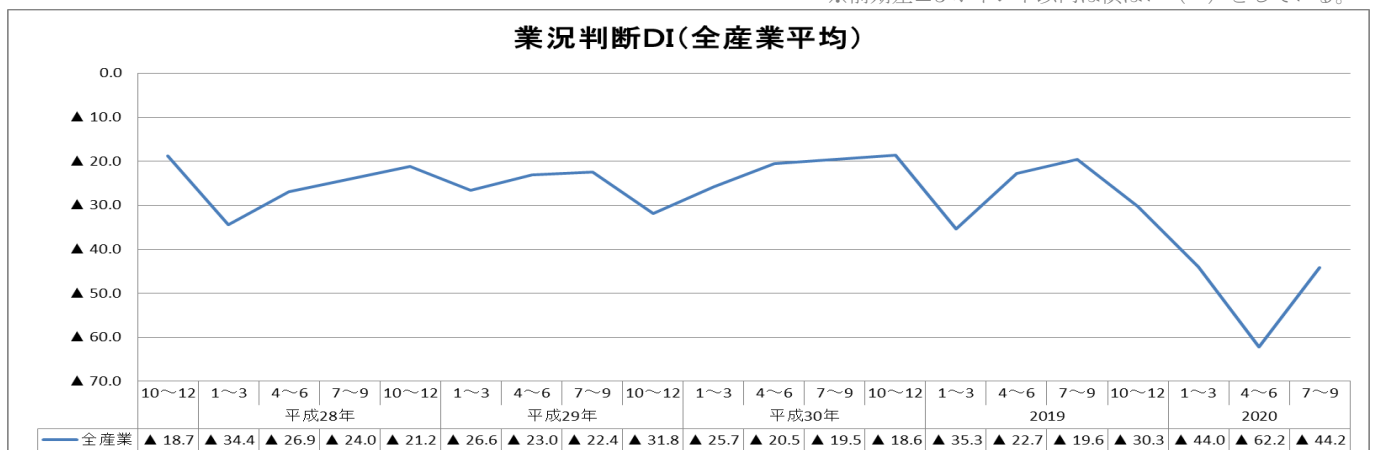
(DI値比較)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
全国平均	▲40.8	▲20.8	▲37.4	▲36.2	▲32.1	▲34.1
東北平均	▲42.3	▲27.1	▲33.0	▲42.1	▲34.6	▲37.1
花巻市	▲44.4	▲10.0	▲44.4	▲66.7	▲55.6	▲44.2

業況判断(前期比)	年	平成28年				平成29年				平成30年				2019			2020			前期増減	末期予想			
		10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9							
製造業		▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲16.7	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲22.2	▲27.8	▲5.6	▲27.8	▲11.1	▲5.6	▲22.2	▲27.8	▲27.8	▲11.1	▲33.3	▲72.2	▲44.4	↗	27.8	▲61.1
建設業		▲20.0	▲40.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	0.0	▲25.0	▲35.0	5.0	▲10.0	▲45.0	▲50.0	▲10.0	↗	40.0	▲30.0
卸売業		▲11.1	▲33.3	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲44.4	▲22.2	▲11.1	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲33.3	▲33.3	▲55.6	▲44.4	↗	11.1	▲33.3
小売業		▲40.0	▲48.6	▲40.0	▲37.1	▲28.6	▲34.3	▲42.9	▲40.0	▲42.9	▲51.4	▲37.1	▲14.3	▲42.9	▲51.4	▲22.9	▲30.6	▲58.3	▲69.4	▲83.3	▲66.7	↗	16.7	▲63.9
サービス業		▲5.6	▲27.8	▲33.3	▲27.8	▲27.8	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲44.4	▲16.7	▲27.8	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲50.0	▲55.6	↘	▲5.6	▲72.2
全産業		▲18.7	▲34.4	▲26.9	▲24.0	▲21.2	▲26.6	▲23.0	▲22.4	▲31.8	▲25.7	▲20.5	▲19.5	▲18.6	▲35.3	▲22.7	▲19.6	▲30.3	▲44.0	▲62.2	▲44.2	↗	18.0	▲52.1

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

業況判断DI(全産業平均)



## 売上額DI ▲36.8 (全国平均▲27.4)

売上額DIは、全産業平均で35.3ポイントマイナス幅が縮小(▲72.1→▲36.8)した。

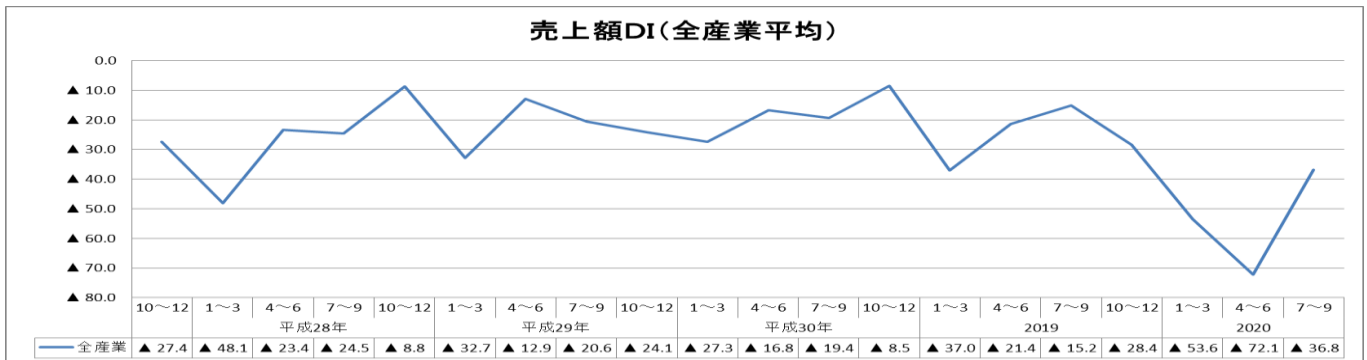
業種別に見ると、建設業が85ポイント増で大きく増加しDI値5.0となったほか、その他全ての業種でマイナス幅が縮小した。

来期予想では、今期増加した建設業が50ポイント減の見込みであるほか、卸売業(横ばい)の他は全ての業種で減少を予想する企業が多い。

全国の調査結果では、全産業平均▲27.4で前期差40.0ポイントの増となっている。業種別に見ると建設業の8.4ポイント増以外は30ポイント以上の増加となっている。

売上額DI(前期比)		平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020			前期増減	末期予想		
年	月期	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			7~9	
製造業		▲22.2	▲27.8	▲44.4	▲11.1	0.0	▲44.4	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲44.4	▲44.4	▲16.7	16.7	▲66.7	▲77.8	▲50.0	↗	27.8	▲61.1
建設業		▲5.0	▲50.0	15.0	▲10.0	15.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	0.0	▲10.0	▲25.0	▲10.0	▲5.0	▲25.0	▲40.0	10.0	▲20.0	▲40.0	▲80.0	5.0	↗	85.0	▲45.0
卸売業		▲44.4	▲55.6	▲11.1	▲33.3	▲22.2	▲33.3	11.1	0.0	▲44.4	22.2	0.0	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲22.2	▲33.3	▲66.7	▲44.4	↗	22.2	▲44.4
小売業		▲54.3	▲57.1	▲42.9	▲45.7	▲25.7	▲31.4	▲42.9	▲48.6	▲31.4	▲48.6	▲25.7	▲25.7	▲48.6	▲60.0	▲5.7	▲30.6	▲66.7	▲77.8	▲75.0	▲61.1	↗	13.9	▲63.9
サービス業		▲11.1	▲50.0	▲33.3	▲22.2	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲44.4	▲22.2	▲27.8	22.2	▲44.4	▲5.6	▲38.9	▲50.0	▲50.0	▲61.1	▲33.3	↗	27.8	▲72.2
全産業		▲27.4	▲48.1	▲23.4	▲24.5	▲8.8	▲32.7	▲12.9	▲20.6	▲24.1	▲27.3	▲16.8	▲19.4	▲8.5	▲37.0	▲21.4	▲15.2	▲28.4	▲53.6	▲72.1	▲36.8	↗	35.3	▲57.3

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



## 経常利益DI ▲58.7 (全国平均▲59.0)

経常利益DIは、全産業平均でマイナス幅が8.6ポイント縮小し(▲67.3→▲58.7)4期ぶりに改善を示した。

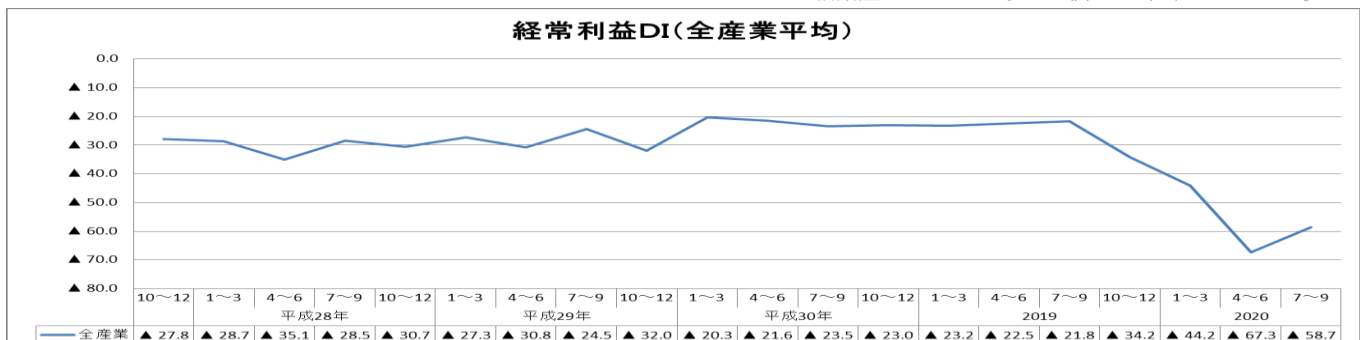
業種別では、製造業が低水準で横ばいのほか、サービス業が11ポイント悪化しているが、その他3業種は好転した。

来期予想では、サービス業がさらに悪化を予想、その他業種は好転する見込みである。

全国値では、前期差8.7ポイント(▲64.1→▲55.4)マイナス幅が縮小している。

経常利益DI(前年同期比)		平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020			前期増減	末期予想		
年	月期	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			7~9	
製造業		▲16.7	▲11.1	▲27.8	▲16.7	▲16.7	▲22.2	▲22.2	▲16.7	▲27.8	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲27.8	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲33.3	▲72.2	▲72.2	→	0.0	▲61.1
建設業		▲10.0	▲20.0	▲35.0	▲30.0	▲5.0	▲30.0	▲30.0	▲10.0	▲25.0	0.0	▲15.0	▲25.0	▲5.0	▲15.0	▲20.0	5.0	▲10.0	▲35.0	▲70.0	▲35.0	↗	35.0	▲30.0
卸売業		▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲55.6	0.0	▲22.2	▲11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲33.3	▲55.6	▲44.4	↗	11.1	▲11.1
小売業		▲51.4	▲51.4	▲51.4	▲45.7	▲37.1	▲40.0	▲57.1	▲57.1	▲57.1	▲51.4	▲42.9	▲37.1	▲54.3	▲40.0	▲31.4	▲41.7	▲61.1	▲58.3	▲77.8	▲69.4	↗	8.3	▲66.7
サービス業		▲38.9	▲38.9	▲38.9	▲27.8	▲38.9	▲44.4	▲22.2	▲27.8	▲50.0	▲44.4	▲44.4	▲44.4	▲5.6	▲27.8	▲27.8	▲38.9	▲50.0	▲61.1	▲61.1	▲72.2	↘	▲11.1	▲77.8
全産業		▲27.8	▲28.7	▲35.1	▲28.5	▲30.7	▲27.3	▲30.8	▲24.5	▲32.0	▲20.3	▲21.6	▲23.5	▲23.0	▲23.2	▲22.5	▲21.8	▲34.2	▲44.2	▲67.3	▲58.7	↗	8.6	▲49.3

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。



## 資金繰りDI ▲28.4 (全国平均▲24.0)

全産業平均で前期差 18.2 ポイント (▲46.6→▲28.4) マイナス幅が縮小した。

業種別に見ると、建設業が 60 ポイント増で大幅に改善したほか、製造業、小売業でも改善が見られる。卸売業は横ばい、サービス業はさらに悪化している。

来期予想では、小売業がやや好転の見込みとなつてが、他業種では悪化を予想している。

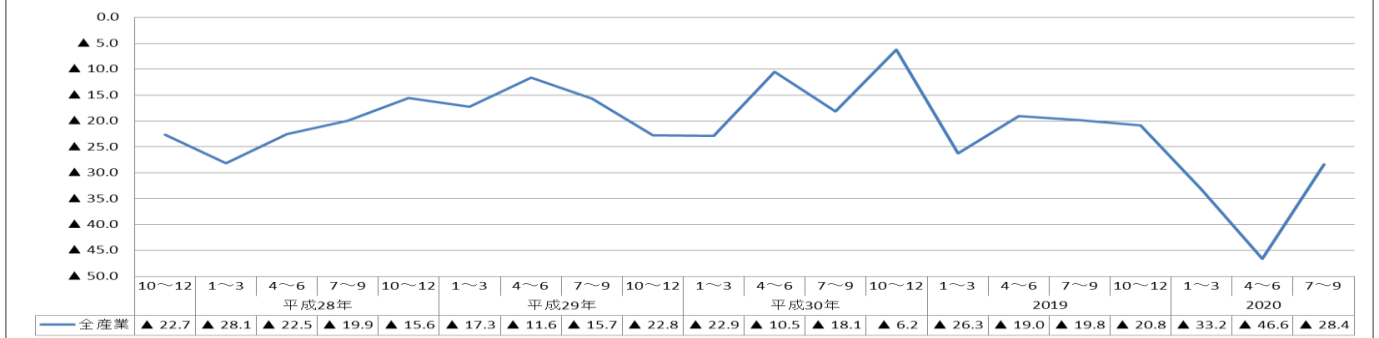
全国値では、全業種で好転し前期差 24.0 ポイント増 (▲48.3→▲24.0) と大幅な改善を示した。

資金繰りDI(前期比)

年 月期	平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020			前期増減	来期予想		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			7~9	
製造業	▲22.2	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲5.6	▲5.6	▲11.1	▲11.1	▲22.2	0.0	▲5.6	0.0	0.0	▲11.1	▲22.2	▲11.1	5.6	▲27.8	▲44.4	▲27.8	↗	16.7	▲50.0
建設業	▲15.0	▲20.0	▲20.0	▲10.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	0.0	▲5.0	▲5.0	▲10.0	▲15.0	0.0	▲25.0	▲25.0	▲10.0	▲15.0	▲30.0	▲55.0	5.0	↗	60.0	▲10.0
卸売業	▲33.3	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲22.2	▲11.1	11.1	0.0	▲33.3	▲22.2	11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲22.2	▲22.2	▲33.3	▲33.3	→	0.0	▲44.4
小売業	▲37.1	▲42.9	▲31.4	▲28.6	▲22.9	▲31.4	▲31.4	▲34.3	▲31.4	▲37.1	▲25.7	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲14.3	▲33.3	▲38.9	▲52.8	▲61.1	▲41.7	↗	19.4	▲38.9
サービス業	▲5.6	▲44.4	▲22.2	▲16.7	▲22.2	▲33.3	▲16.7	▲33.3	▲22.2	▲50.0	▲22.2	▲33.3	0.0	▲33.3	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲44.4	↘	▲5.6	▲61.1
全産業	▲22.7	▲28.1	▲22.5	▲19.9	▲15.6	▲17.3	▲11.6	▲15.7	▲22.8	▲22.9	▲10.5	▲18.1	▲6.2	▲26.3	▲19.0	▲19.8	▲20.8	▲33.2	▲46.6	▲28.4	↗	18.2	▲40.9

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

資金繰りDI(全産業平均)



## 従業員DI ▲14.0 (全国平均▲10.2)

従業員数DIは、6.8ポイントマイナス幅が拡大(▲7.2→▲14.0)し、従業員の減少を示した。

産業別にみると、製造業が 27.8 ポイント減で最も大きく減少し、卸売業も 11.1 ポイント減となっている。建設業は 5.0 ポイント増、小売業とサービス業は横ばいとなった。

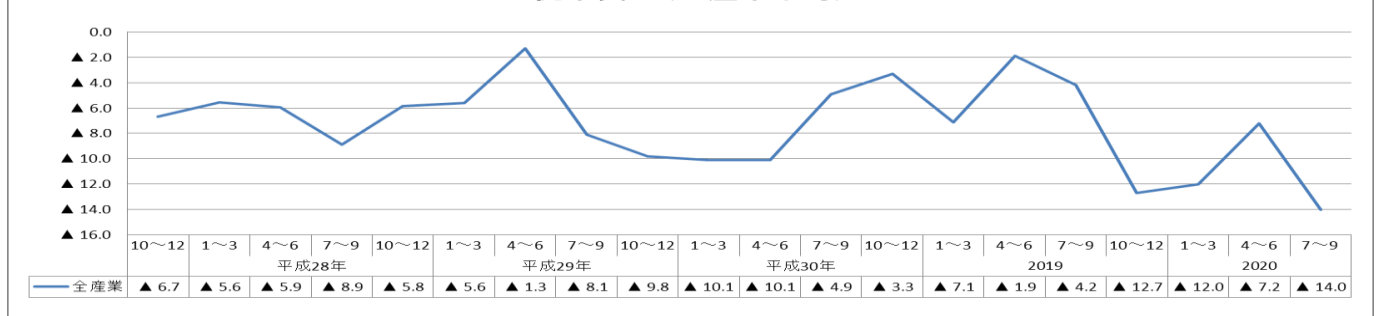
全国調査の従業員DIは、全産業ベースで前期▲10.0→今期▲10.2でほぼ横ばいとなっている。

従業員DI(前年同期比)

年 月期	平成28年				平成29年				平成30年				2019				2020			前期増減	来期予想		
	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			7~9	
製造業	▲11.1	▲16.7	▲11.1	▲16.7	▲16.7	▲16.7	▲11.1	▲5.6	▲11.1	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲5.6	▲11.1	0.0	5.6	▲27.8	▲16.7	▲5.6	▲33.3	↘	▲27.8	▲27.8
建設業	0.0	0.0	▲10.0	▲25.0	▲15.0	0.0	5.0	▲15.0	▲10.0	▲20.0	▲20.0	▲5.0	0.0	▲5.0	10.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	▲25.0	▲20.0	↗	5.0	▲10.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	▲11.1	0.0	▲11.1	0.0	0.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	11.1	0.0	↘	▲11.1	11.1
小売業	▲5.7	0.0	▲8.6	▲2.9	▲8.6	▲5.7	▲5.7	▲14.3	▲11.4	▲2.9	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.8	▲11.1	0.0	0.0	→	0.0	▲5.6
サービス業	▲16.7	▲11.1	0.0	0.0	0.0	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲11.1	5.6	0.0	▲11.1	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲16.7	▲16.7	→	0.0	▲16.7
全産業	▲6.7	▲5.6	▲5.9	▲8.9	▲5.8	▲5.6	▲1.3	▲8.1	▲9.8	▲10.1	▲10.1	▲4.9	▲3.3	▲7.1	▲1.9	▲4.2	▲12.7	▲12.0	▲7.2	▲14.0	↘	▲6.8	▲9.8

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

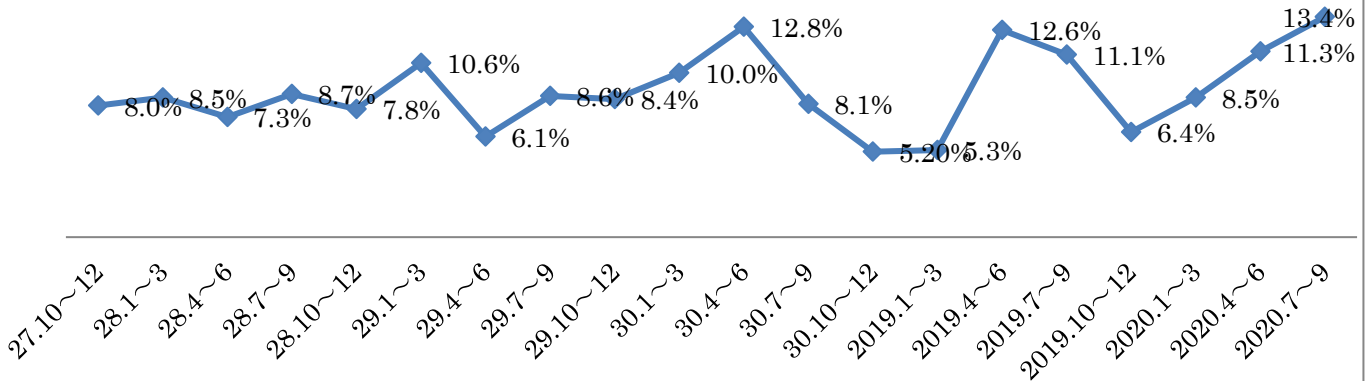
従業員DI(全産業平均)



## 設備投資動向

- ・ 今期設備投資を実施した企業の割合は、13.4%（前期 11.3%）で3期連続増加した。
- ・ 来期設備投資を計画している企業の割合は15.3%とさらに増加する見込み。
- ・ 全国値は今期 18.5%で前期より 3.7ポイント増加した。来期は横ばいの見通し。

設備投資実施状況の推移  
(全業種平均値)



## 直面している経営上の問題点

製造業	1位	需要の停滞	35%	建設業	1位	民間需要の停滞	24%
	2位	生産設備の不足・老朽化	20%		2位	官公需用の停滞	14%
	3位	製品ニーズの変化	13%		2位	従業員の確保難	14%
卸売業	1位	需要の停滞	32%	小売業	1位	需要の停滞	20%
	2位	小売業の進出による競争激化	21%		2位	消費者ニーズの変化	18%
	3位	仕入単価の上昇	16%		3位	購買力の他地域流出	13%
サービス業	1位	需要の停滞	29%				
	2位	利用者ニーズの変化	18%				
	3位	利用料金の上昇難	11%				

- ・ 全国調査における経営上の問題点の順位は以下の通り。

	1位	2位	3位
製造業	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化
建設業	民間需要の停滞	従業員確保難	熟練技術者の確保難
卸売業	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	大企業との競争激化
小売業	需要の停滞	消費者ニーズの変化	大・中型店との競争激化
サービス業	需要の停滞	利用者ニーズの変化	従業員の確保難